

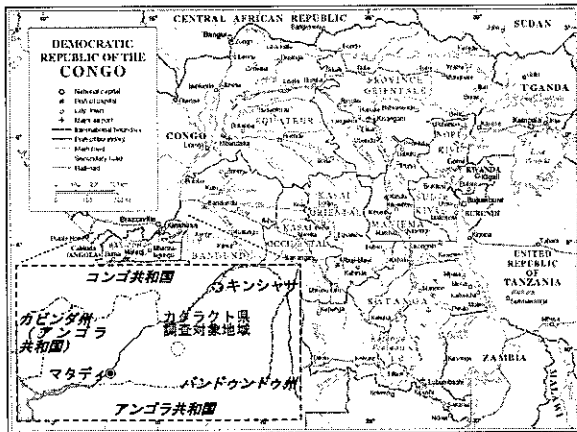
プロジェクト紹介

コンゴ民主共和国バ・コンゴ州カタラクト県コミュニティ再生支援調査

実施形態：JICA 開発調査

実施期間：2008年7月～2010年12月

1. 調査の背景



カタラクト県調査対象地域

対象地域を含むバ・コンゴ州は、コンゴ民主共和国に存在する 11 州の 1 つで、同国最西端の州である。北にコンゴ共和国、南にアンゴラ共和国、東にキンシャサ特別州およびバンドゥンドン州、西にアンゴラ共和国カビンダ州と接し、同国で唯一外洋と接する州として国家レベルの経済活動および物流の重要な拠点であるとともに、その地理的特徴より、アンゴラ共和国からの難民流入が繰り返された地域である。

同州中部カタラクト県キンペセセクターでは、アンゴラ共和国の内戦が激化した 1990 年代以降に大量の難民が流入した。アンゴラ難民の一部はコンゴ民人と婚姻関係を結ぶ等、地域に同化している者もいる。2007 年 7 月に UNHCR の人道支援が終了し、地域の復興・開発プロセスへの移行期にある中、残留する旧難民と地域住民との間で地域資源の利用における負荷が増大し、彼らの共存・和解を促進させることが課題となっていた。

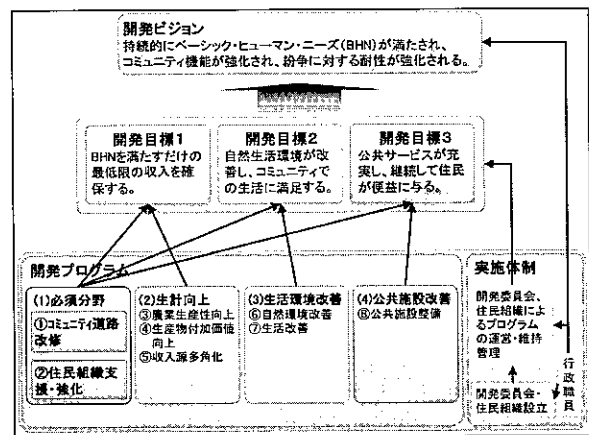
2. 調査の目的およびそのアプローチ

本調査の目的は以下の 4 項目である。

- ・住民主体のコミュニティ開発を実施・展開するための方策を明らかにする。
- ・コミュニティ開発計画策定のプロセスを通し、コミュニティの機能強化を図り、アンゴラ難民の定住による同地域の負荷を軽減する。
- ・緊急復興事業（道路改修）によるアクセスの改善、コミュニティ間の交流の促進、物流の向上を図る。

・上記事業が平和構築に資するための紛争分析を実施する。

本調査開始直後、対象とするコミュニティ内外の現状を把握するため、コミュニティ・プロフィール調査を実施した。その結果、コミュニティが賦存する自然資源の状況や村の強み・弱み、住民が内包するニーズに関する情報が収集できた。これらの情報は、コミュニティが目指す開発ビジョンの策定や開発目標の設定等を容易にし、コミュニティ開発計画の策定にも貢献した。



開発ビジョン実現のアプローチ

3. 調査の活動概要および効果

本調査では、コミュニティ道路の改修・維持管理、生計向上・生活改善等のコミュニティ開発を実施し、また、コミュニティ開発計画のモデルとしてキンペセ・モデルを提示した。キンペセ・モデルのコンセプトは、①コミュニティ道路の改修、②プロジェクトの持続性確保のための住民組織の整備、③コミュニティの特性（自然/人的資源）を考慮したプロジェクトを導入した総合的な開発アプローチの実施、④コンゴ民主共和国末端行政機関およびコミュニティの機能強化である。

緊急復興事業として実施されたコミュニティ道路の改修では、機械施工と人力施工を組み合わせることにより多くの地域住民の労働雇用を創出した。また改修された道路の維持管理を住民主導で実施されるよう管理組織を新設するとともに道路維持管理指導者を育成した。この指導者の管理の下、住民達は無給で道路の補修作業を実施している。

